

園だより 5月

主よ、その人を守って命を得させ この世で幸せにしてください。

詩編 41章3節

園庭の桜の木は新緑の季節を迎えました。

「この生き生きした緑は子どもたちと喜び合えるかしら」と願っておりましたが、叶わない状況にあります。

緊急事態宣言から1ヶ月以上。見えないウィルスを防ぎながら、ご家庭では様々な工夫をされお過ごしのことと思います。幼稚園でも、ホームページを通して幼稚園の様子や離れていても一緒に楽しめる企画をお届けして来ました。

このような時であるからこそ、何気ないけれども大切な日常生活一つひとつに、改めて心を留め過ごすことが出来ているのでは、と思ったりもしています。

5月に入り、自粛の期間がもう1ヶ月延びました。みんなの命を守るため！先が読めない状況の中ではありますが、今しばらく、お互いに大切な人たちのことを思い、日々を穏やかに過ごすことにいたしましょう。幼稚園もいつ子どもたちが園庭やお部屋に戻ってきても大丈夫なように環境を整え楽しみに待つことにいたします。

この1ヶ月、子どもたちの声が聞こえない幼稚園で様々考える時を与えて頂きました。子どもたちと共に過ごす幼稚園生活を通し、私たち保育者が思いを注ぐ江東 YMCA 幼稚園のテーマ「主体的に生きる」、入園説明会でもお話をさせて頂いている「主体的に生きるということは、自分の思いをもって自分らしく、周囲の人と共に生きること」についても。そして、それは今私たち全ての人々に求められている生き方ではないかとの思いに至っています。思うようにいかないと感じる日々の中、でも自分のため、家族のため、周りの人々のため、全ての人々の命を守るために今自分はどうすることが大切なのかという思いを持ち、手洗いうがいを丁寧に、お友だちと遊びたいけれど我慢する、規則正しい生活を過し元気である、など自分の出来ることを(自分らしく)行う、どのこともその行為に対する想いは周りの人々と共に生きることに繋がっているのです。

どのような状況のときにも、そのときそのときを大切に受け止め、それぞれに試行錯誤しながら前向きに捉え、その中の喜びや楽しみを見出し、相手を思う慈しみが溢れる、そんな豊かな感性を幼児期の心の根っこにしっかりと育む幼稚園の日々を待ち望みます。全ての人々に平安な日々をと祈りいたします。

園長 駿河 幸子